

No.45 2017年5月号
 倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
TEL 086-444-3212
 老人保健施設 **老健あかね**
TEL 086-446-6541



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

コープリハビリテーション病院におけるリハビリの発展経過

前院長 太田 仁士



太田 仁士先生
コープ
リハビリ
テーショ
ン病院は

1987年に創立された健康協同病院の基礎の上に2017年の新病院建設へと発展しました。この経過は感覚的には「光陰矢の如し」ですが振り返ってみますと30年もの長い年月であったことに驚きます。この間になされた医療、介護の活動の内容は実に多岐にわたるものであり様々なテーマがありました。

看護部長就任のご挨拶



岡本 利恵
リハビリ
テーショ
ン

4月より、コープリハビリテーション病院・老健あかね看護部長及び、老健あかね師長兼務を務めることとなりました。新築移転間もない当院は、リハビリと高齢者医療・看護・介護・歯科の連携を更に強化し、それぞれがその技量をより発揮することで患者・利用者の皆様のニーズに合わせたサービスを提供できるよう努力し取り組んでいます。お陰様で、組合員や地域の皆様の期待は

大きく、入院・入所の問い合わせや申し込みが後を絶ちません。

そんな大きな転換期または激動の渦のなかで、この度の重責を担うにあたり未熟な私に多くの方から励ましや叱咤激励、心強い指導などを頂き、いつも誰かに支えられ見守られていた事に気づき、感謝すると共に大きな力となつていきます。そして、これからは看護部長として、多くの方を支援していけるよう努力したいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

1期・老人の医療、介護にリハビリの理念を取り入れた時期

創立時に全国にあつた多くの老人病院は一般的には寝たきり老人が多いのが現状でした。しかし、我々はその医療活動の中心にリハビリの理念（「障害者の「全人的復権」を据えて、高齢者の方々が「安心して老い人間らしく生きる」ことができるよう支援すること」を目標としました。そのため出来るだけ離床して日々の活動を行う「生活リハビリ」を推進しました。1990年代には老人介護にリハビリが取り入れられるようになり、倉敷医療生協は1995年に全国の医療生協の中で初めて老人保健施設（老健あかね）を設立しました。

2期・回復期リハビリテーション病棟を導入した時期

医療機能分化と連携の観点から言えば、老人病院に入院している高齢者は脳血管障害や認知症などによる障害者が多い「慢性期」の医療で、1期はそれに対応する「維持期

（生活期）の充実を目指しました。一方、「急性期」の医療における

「急性期」の医療におけるリハビリは水島協同病院などの急性期病院が担っていましたが「重急性期」におけるリハビリは不十分でした。

そこで、リハビリ分野においては1990年代より急性期と維持期（生活期）をつなぐ「回復期」のリハビリの重要性が叫ばれるようになり、2000



健寿協同病院開設のころの医局(中央手前が初代院長の三村宏二先生)

年に回復期リハビリテーション病棟の制度が創設され、それぞれの病期のリハビリとの連携が求められるようになりました。その流れの中で健寿協同病院も2001年に回復期リハビリテーション病棟を設立しました。

3期・全年齢層の障害者のリハビリテーションを目指す

創立当時の病院は「健寿」という名前から分りますように「健やかな長寿」という意味で、高齢化社会を迎えた時代の老人医療に取り組みこ



さくらの背景も今年が最後

とが目的でした。しかし前述のような1期、2期を経てリハビリに対する地域のニーズも変化してきました。すなわち、従来の老人医療への取り組みという枠を超えた高齢者のみならず若年の方も含めた障害者の医療、介護という一段と発展した段階に取り組みことが求められるようになり、2014年に病院の名前をコープリハビリテーション病院と改名し現在に至っています。

この30年の間にはこのようになりリハビリの在り方の変遷があります。いずれの時期の活動においても常に念頭に置いてきたのは、リハビリの理念（「障害者の「全人的復権」であったことは言うまでもありません。

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

ボランティア総会を終えて

ボランティア委員会

3月22日、コープリハビリテーション病院でボランティア総会を行いました。日頃から活動いただいていますボランティアさん50名の参加でした。

2016年度のボランティアの延べ人数は、過去最高の1375人に及び、10年前と比べ26倍になっています。毎週定期的に来院いただくボランティアさんに加え、行事などのイベントで習ったことを披露くださったボランティアさんも多くおられ、活動の広がりを感じています。

総会では、1年間の活動報告と新規のボランティアの紹介を行いました。後半の時間を使い、院内の見学もしていただきました。



ボランティア総会

ボランティアさんは、まさしく外の風を吹き込む貴重な存在です。単調になりがちな入院所の生活に刺激を与えてくださいます。また、外からの目線で、私たちの仕事ぶりも評価していただく存在としてこれからも貴重なご意見をお寄せください。



新しいボランティア室

ボランティアさんには、さまざまな存在があります。単調になりがちな入院所の生活に刺激を与えてくださいます。また、外からの目線で、私たちの仕事ぶりも評価していただく存在としてこれからも貴重なご意見をお寄せください。

千鳥・福崎町

第23回小地域ケア会議に参加して

3月22日、千鳥・福崎町第23回小地域ケア会議に出席しました。小地域ケア会議は年3回、地域の課題をテーマに、町内会長をはじめ住民の皆さん、第五福田小学校校長先生、民生委員、愛育委員、栄養委員、社協、特養ももちどり、水島高齢者支援センターからの参加で話し合いがもたれていきます。

この度は、当院のご紹介の機会をいただき、笹館事務



地域ケア会議で佐藤リハビリ科長による運動の指導

務長、老健あかね岡本師長、リハビリ科長佐藤理学療法士、医療福祉相談室長田辺の4人が出席しました。当院の機能や役割、利用の仕方、ボランティアの説明など約1時間にわたりお話をしました。後半は簡単な運動をして体を温めました。

千鳥・福崎町は、まさしくご近所でこれからお世話になる方々ばかりです。私たちも地域づくりに少しずつ参加していきたいと思

ます。今後共よろしくお願います。今後共よろしくお願います。

医療福祉相談室長 田辺 紀子

3月

「みずしま雛めぐり」のお雛さまが1階ホールにやってきました。

1階ホールは、みずしま雛めぐりのスタンプラリーのスポットになり、お雛さまの前にはスタンプが置かれていました。お雛さまを鑑賞しスタンプを押して帰る微笑ましい親子の姿がありました。



ボランティアによる花壇のお花

ボランティア室が1階南側にあります。太陽の陽が燦々と差し込むお部屋を活動の拠点として使っていたらと思います。

新入職員紹介



コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 尾上 亜澄



コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 池田三保子



コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 岡村 志穂



コープリハビリテーション病院 リハビリ科 作業療法士 高月奈々江



コープリハビリテーション病院 リハビリ科 理学療法士 妹尾季梨子



コープリハビリテーション病院 リハビリ科 理学療法士 清信 聡志



コープリハビリテーション病院 栄養科 調理師 杉原 瑠香



老健あかね 介護福祉士 日名 綾香



老健あかね 通所リハビリ 介護福祉士 佐立 佳子



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 8:30~17:00
(土日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

診療表		コープリハビリテーション病院 [086-444-3212]		老健あかね [086-446-6541]	
診療時間	内科	歯科	短時間 通所 リハビリ	訪問 リハビリ	通所 リハビリ
	午前 9:00~ 12:30		午後	9:00~ 16:50	
月			○	○	○
火	○	○	○	○	○
水	○		○	○	○
木	○	○	○	○	○
金	○		○	○	○
土					○